

国立精神・神経医療研究センター神経研究所疾病研究第一部にて

筋病理診断を受け、封入体筋炎と診断された方へ

このたび、国立精神・神経医療研究センター神経研究所疾病研究第一部にて、診断的検査時に採取され保存された培養細胞（筋芽細胞・皮膚線維芽細胞）の一部について、下記の研究に対し提供を行います。この研究では、国が定めた倫理指針に基づき、対象となる方お一人ずつから直接同意をいただくかわりに、利用目的等を含む研究の実施について、情報を公開いたします。

この研究に対し培養細胞（筋芽細胞・皮膚線維芽細胞）の一部を利用することにより、対象となる方に新たな負担や制限が加わることは一切ございませんが、ご自身の培養細胞（筋芽細胞・皮膚線維芽細胞）の一部を利用・提供して欲しくない場合は、問い合わせ窓口までご連絡ください。なお、利用・提供してほしくないと申し出られた場合でも、なんら不利益を受けることはございません。

1. 対象となる方

1978 年 1 月 1 日より2026 年 8 月 31 日までの間に、国立精神・神経医療研究センター神経研究所疾病研究第一部にて筋病理診断を受け、封入体筋炎と診断された方

2. 試料情報の提供のみを行う者の機関名・所属・氏名

機関名：国立精神・神経医療研究センター神経研究所

所属・氏名：疾病研究第一部・西野 一三

3. 試料・情報を提供する研究課題名と研究代表者又は研究責任者

研究課題名：封入体筋炎患者由来培養細胞を用いた病態メカニズムの解明と薬理試験

研究期間：研究実施許可受領後から～2029 年 09 月 30 日まで

研究代表者(研究責任者)：国立精神・神経医療研究センター神経研究所疾病研究第一部 西野 一三
(共同研究機関)

武田薬品工業株式会社 リサーチ ニューロサイエンス創薬ユニット 研究責任者 宇野 裕美子

4. 利用又は提供する試料・情報等と取得方法について

試料：培養細胞（皮膚線維芽細胞、筋芽細胞）

(取得方法) 診療の一環で採取

情報等：臨床経過、年齢、性別、自己抗体情報、病情報

(取得方法) 診療録から入手

5. 試料・情報の利用目的及び利用方法

提供を行う際には、研究計画に従い、対象となる方の氏名、生年月日、住所等の個人情報には削除または加工し、個人を特定できない状態としたうえで、安全管理措置を講じて取り扱います。

本研究では、国立精神・神経医療研究センター（NCNP）で封入体筋炎と病理診断された患者において、臨床情報の提供、ならびに、診断目的で取得された培養細胞（皮膚線維芽細胞、筋芽細胞）を用いて、封入体筋炎の病態メカニズムの解析や治療標的の探索、薬剤等を用いた検証を行います。これらの研究を通じて、封入体筋炎の病態メカニズムの解明を目指し、新たな治療薬の開発に貢献することを目的とします。

具体的には、患者由来筋芽細胞を筋管細胞に分化させ、RNA-seq などによる遺伝子発現解析、RT-PCR による発現確認、タンパク質・脂質の解析などを行い、病気に関連する分子の変化を調べます。さらに、候補となる薬剤などを培養細胞に加えて反応を評価し、治療につながる可能性を検討します。得られた解析結果は共同研究機関から NCNP の研究責任者へ報告され、診療時の情報とあわせて検討します。

6. 利用又は提供を開始する予定日

研究開始日を予定しています。

7. 問い合わせ窓口

この研究課題の詳細についてお知りになりたい方は、下記問い合わせ担当者までお問い合わせください。

機関名：国立精神・神経医療研究センター神経研究所

所属：疾病研究第一部 氏名 西野 一三

電話番号：042-341-2711

e-mail：mbx※ncnp.go.jp（「※」を「@」に変更ください。）